

<アンケート調査表>

はじめにご回答者についてお聞きします。

F1 性別

1. 男性 2. 女性

F2 年齢

1. 20～29歳 2. 30～39歳 3. 40～49歳
4. 50～59歳 5. 60～69歳 6. 70歳以上

F3 回答者を含めたご家族の人数

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

F4 お住まいの種類

1. 戸建住宅（持家） 2. 戸建住宅（賃貸） 3. 集合住宅（持家）
4. 集合住宅（賃貸） 5. 併用住宅（店舗・事務所等） 6. その他

F5 市川市にお住まいになっている年数

1. 1年未満 2. 1年以上3年未満 3. 3年以上5年未満
4. 5年以上10年未満 5. 10年以上20年未満 6. 20年以上

F6 お住まいになっている地区（該当する地区の番号の1つに○）

1. 大柏地区	大町、大野町、奉免町、柏井町、南大野
2. 宮久保地区	宮久保3～6丁目、北方町4丁目、東菅野4・5丁目、下貝塚
3. 曾谷地区	曾谷、宮久保1・2丁目、国分1丁目、東国分、稲越町
4. 国分・国府台地区	堀之内、北国分、中国分、国府台、国分2～7丁目
5. 八幡地区	菅野、平田1・2丁目、須和田1丁目、八幡3丁目、東菅野1～3丁目
6. 中山地区	八幡1・2・4～6丁目、北方、本北方、若宮、鬼越、中山、高石神
7. 本八幡駅南地区	南八幡、鬼高、稲荷木、東大和田、田尻1・2丁目
8. 市川地区	真間、市川、須和田2丁目
9. 市川駅南地区	新田、市川南、平田3・4丁目、大洲、大和田
10. 信篤地区	田尻3～5丁目、田尻、高谷、高谷新町、原木、二俣、二俣新町、東浜
11. 行徳地区	河原、下新宿、本行徳、本塩、関ヶ島、伊勢宿、妙典、上妙典、下妙典、富浜、末広、塩焼、宝、幸、入船、日之出、千鳥町、加藤新田、高浜町、塩浜1丁目
12. 南行徳地区	押切、行徳駅前、湊、湊新田、香取、欠真間、相之川、新井、広尾、島尻、福栄、新浜、南行徳、塩浜2～4丁目

ごみの減量・リサイクルへの関心や取組状況についてお聞きします。

問1 ごみの減量やリサイクルに関心はありますか。(○は1つ)

1. 大いに関心がある
2. 関心がある
3. あまり関心がない
4. まったく関心がない
5. わからない

問2 ごみの減量やリサイクルについて具体的に取り組んでいることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1. 買い物にはマイバックを持参し、レジ袋はできるだけ断る
2. 過剰包装の商品は避けたり、ごみになるものは受け取らない
3. 繰り返し使える容器や詰め替え商品を選んで購入する
4. リサイクル商品やエコマークのついた商品を選んで購入する
5. 買い物は計画的に行い無駄になるものは買わない
6. 調理の際に、できるだけ食べ残しやごみが出ないように工夫している
7. 生ごみは水をよく切って排出している
8. 生ごみ処理機やコンポスト容器を使用して生ごみを減量している
9. ごみを出す際に、資源物とごみの分別収集に協力している
10. リユースショップやフリーマーケットを利用している
11. フリマアプリやネットオークションを利用している
12. 壊れた物は修理するなどして、できるだけ長持ちさせて使用している
13. スーパーマーケットの店頭回収を利用している
14. 自治会などの集団資源回収に参加している
15. その他 ()
16. 特にない

資源物の排出方法についてお聞きします。

問3 ペットボトルは主にどのように排出していますか。 (○は1つ)

1. スーパー等の店頭にある回収箱に排出
2. 公共施設の資源回収箱に排出
3. プラスチック製容器包装類としてごみ集積場所に排出
4. 燃やすごみとしてごみ集積場所に排出
5. その他 ()

問4 新聞は主にどのように排出していますか。 (○は1つ)

1. 新聞販売店による古紙回収に排出
2. 地域の集団資源回収場所に排出
3. 資源物としてごみ集積場所に排出
4. 燃やすごみとしてごみ集積場所に排出
5. その他 ()

問5 雑がみ(お菓子やティッシュの紙箱、包装紙、紙袋など)は主にどのように排出していますか。 (○は1つ)

1. 雑誌にはさんで資源物としてごみ集積場所に排出
2. 雑がみだけで束ねて資源物としてごみ集積場所に排出
3. 紙袋に入れて資源物としてごみ集積場所に排出
4. 燃やすごみとしてごみ集積場所に排出
5. その他 ()

問6 再利用可能な(まだ着ることが出来る)衣類は主にどのように排出していますか。
(○は1つ)

1. ユースショップや古着屋などに引き取ってもらう
2. フリマアプリやオークションサイトで売払う
3. 資源物としてごみ集積場所に排出
4. 燃やすごみとしてごみ集積場所に排出
5. その他 ()

ごみ袋の使用枚数やごみの収集回数についてお聞きします。

問7 1週間のごみ袋の使用枚数を教えてください。(数字を記入してください)

※2週間に1枚など、1週間では1枚も使わない場合は空欄で構いません。

①燃やすごみ

指定ごみ袋の容量	45ℓ	30ℓ	20ℓ	15ℓ
使用枚数	枚	枚	枚	枚

②燃やさないごみ

指定ごみ袋の容量	30ℓ	20ℓ	15ℓ
使用枚数	枚	枚	枚

③プラスチック製容器包装類

指定ごみ袋の容量	45ℓ	30ℓ
使用枚数	枚	枚

問8 ごみの収集回数(頻度)についてどう思いますか。

(ごみの種類ごとに該当する番号に○をつけてください)

	増やした方が 良い	減らしても 良い	ちょうど 良い	わからない
① 燃やすごみ (週に2回収集)	1	2	3	4
② 燃やさないごみ (週に1回収集)	1	2	3	4
③ プラスチック製容器包装類 (週に1回収集)	1	2	3	4
④ 紙類・布類 (週に1回収集)	1	2	3	4
⑤ ビン・カン (週に1回収集)	1	2	3	4

生ごみの減量・資源化についてお聞きします。

問 11 あなたは「食品ロス」(※)という言葉を知っていましたか。(○は1つ)

※「食品ロス」とは、本来食べられたはずなのに廃棄されてしまった食品のことをいいます。食品ロスの主な原因は、手付かずの食品や食べ残し、過剰除去(例えば大根の皮をむくとき、必要以上に厚くむくことなどです。)食品ロスは、日本国内で600万トン以上発生しており、国民1人1日あたりに換算すると約140g(ごはん茶碗1杯分)の食べ物が食品ロスとして捨てられている計算になります。

1. 言葉の意味を知っていた
2. 言葉を聞いたことはあるが、意味は知らなかった
3. 知らなかった

問 12 あなたの家庭で発生する食品ロスは主にどのようなものが多いですか。

(○は1つ)

1. 食べ残し
2. 未使用・手つかずの食品
3. 過剰除去(野菜の皮のむき過ぎなど)
4. わからない

問 13 あなたは「フードドライブ」(※)という言葉を知っていましたか。(○は1つ)

※「フードドライブ」とは、ご家族で余っている未開封の食品を持ち寄り、必要としている団体等に寄付する活動です。

1. 言葉の意味を知っていて、寄付をしたことがある
2. 言葉の意味を知っていて、寄付をしたことがない
3. 言葉を聞いたことはあるが、意味は知らなかった
4. 知らなかった

問 14 あなたの家庭で食品ロスが発生するのは、どのようなことが原因ですか。

(○は3つまで)

1. 賞味期限が切れてしまい食べなかった
2. 消費期限が切れてしまい食べなかった
3. 食品がいたんでしまったから
4. 食材を買いすぎたため
5. 食材を購入したことを忘れたため
6. 料理をする機会が少なくなったため
7. あまり好きでないものをもらってしまったため
8. 急な外食があったため又は家族の予定がかわったから
9. 料理をつくりすぎたため
10. 料理があまりおいしくできなかったため
11. 味付けが好みでなかったから
12. 子どもの食事にむらがあるため
13. その他 ()

問 15 あなたがご家庭で、生ごみを減らすために行っていることはありますか。

(該当するものすべてに○をつけてください)

1. 水切りをしている
2. 必要なものだけを買っている
3. 冷蔵庫の残り物は定期的に点検している
4. 食材にあった保存をするように心がけている
5. 調理くずが出ない料理に工夫をしている
6. 食べ残しをしないようにしている
7. 生ごみ処理機で堆肥化している
8. 生ごみ処理容器 (コンポスト) で堆肥化している
9. ディスポーザーを利用している
10. その他 ()
11. 特に何もしていない

問 16 家庭から出る生ごみについて、新たに「生ごみ」として、分別して資源化するということについてどう思いますか。（○は1つ）

1. 実施すべき
2. どちらかというと実施した方がよい
3. どちらかというと実施しない方がよい
4. 実施すべきでない
5. わからない

問 17 生ごみの分別・資源化を実施する場合、どのようなことに配慮すべきだと思いますか。（○は3つまで）

1. 周知・啓発の徹底
2. 生ごみ資源化による効果を明らかにする
3. 分別の協力する人にとって公平な仕組みとする
4. 環境・衛生面への配慮
5. カラス対策
6. 排出機会の確保
7. 排出場所の確保

今後のごみ減量・リサイクルの施策についてお聞きします。

問 21 今後、ごみの減量やリサイクルを進めるために有効な施策は何だと思えますか。

(○は3つまで)

1. 市民に対する情報提供
2. 啓発による市民意識の向上
3. 現在の資源物とごみの分別(12分別)の徹底
4. 資源物とごみの分別の細分化(分別数を増やす)
5. 家庭ごみの有料化
6. マイバッグ運動の推進
7. レジ袋の有料化
8. スーパーなどの店頭での資源物の回収の拡大
9. 販売者に対する働きかけの強化
10. 集団資源回収の強化
11. 不用品の交換や回収・再生販売の促進
12. その他 ()

問 22 市川市のごみ処理に関するご意見、ご要望等がありましたらご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、9月6日(金)までにご投函ください。